

日本膜学会第43年会は、6月4日（金）、6月5日（土）両日に、早稲田大学121号館（研究開発センター）をコントロールセンターにして開催されました。前年の第42年会が残念ながら紙上形式での開催になってしまいましたので、今回は対面形式あるいはハイブリット形式による開催を予定していましたが、コロナウイルス感染症の状況に改善が見られなかったことから完全オンライン形式で行われました。有料参加者160名、企業2社に特別講演およびシンポジウムの先生方を加えて約180名弱の参加者数での開催になりました。例年、年会には200名を超える参加者がありますので、今回はコロナ禍が反映されたせいか若干少なめの人数ではありましたが、オンラインならではの催事も行われ、盛会裡に終わることができましたをここにご報告申し上げます。

第43年会では、依頼講演23件（特別講演2件、5シンポジウム19件、研究奨励賞受賞記念講演2件）、一般口頭発表29件（人工膜17件、生体膜8件、境界領域4件）、ポスター発表60件（人工膜37件、生体膜14件、境界領域9件）が行われました。学生賞への応募は54件あり、審査員による選考の結果、11件の学生賞が選出されました。さらに、企業からも1発表セッション3件、ランチョンセミナー1件（Anton Paar Japan株式会社ご提供）が行われ、盛り沢山のプログラムが実施されました。

特別講演は、境界領域から九州大学の荒殿 誠先生に「ソフト界面膜の研究展開～マクロからミクロへ、静から動へ、面から線へ～」、人工膜から信州大学の遠藤守信先生に「架橋ポリアミドとカーボンナノチューブで構成する海水淡水化用ナノ複合逆浸透膜～Green Desalinationへの貢献を目指して～」と題したご講演をしていただきました。両先生共に膜学が深く関連する内容を、膜学会員に向けて大変わかりやすくお話していただき、膜研究の卓越性とその重要性を改めて認識する機会になりました。

シンポジウムは、人工膜から「COIプロジェクトの紹介と人工膜の新しい潮流」、[「ナノファイバー・ナノ空間を利用した分離膜の新展開」、[「膜による水処理技術を展望するXI～イオンの分離・濃縮・精製と創エネルギー」、生体膜から「分子集合系及び新素材を利用した新たなDDSシステム」、境界領域から「膜と界面-熱力学的アプローチによる現象理解-」の合計5つのシンポジウムが2日間に亘って行われました。オンラインでシンポジウムを開催するのが初めてでしたので、聴衆が集まるかどうか心配でしたが、いずれのシンポジウムにおいても多くの参加者があり、主題

テーマに関する活発且つ充実した討議を行うことができました。

第1日目の特別講演終了後には、オンラインコミュニケーションツールである「SpatialChat」を用いた懇親会を行いました。50名程の参加者が、ネット上空間内において再現されたリアル世界における物理的な距離感を楽しみながら話を弾ませました。懇親会中、膜学会の恒例行事である三賞表彰を徳島の名産品を賞品として用意して実施しました。オンライン表彰式ではありましたが、大いに盛り上がり、非常に好評を博しました。

第2日目の午後の講演終了後には、膜学研究奨励賞、膜誌論文賞、学生賞の表彰式が執り行われました。その後、奨励賞受賞記念講演として、産業技術総合研究所の原 伸生先生に「金属有機構造体を用いた分離膜の開発と気体透過機構に関する研究」、徳島大学の福田達也先生に「脳梗塞部位の血管内皮層突破を目指した生体膜模倣微粒子の開発」と題した講演を行っていただきました。両先生の膜学会における今後益々のご活躍を期待しています。

今回、オンライン形式で開催した年会は大きな問題もなく、無事に終わることができました。開催にご協力いただきました発表者の皆様、座長および学生賞選考委員の先生方には、改めてお礼申し上げます。また、本年会を運営するに当たり、組織委員会を組織しました。以下にお名前を挙げさせていただき、謝意を表させていただきます。さらに、年会開催まで献身的にご尽力いただきました膜学会事務局の渡部 様および会場の準備並びに進行を手伝ってくれた早稲田大学の松方研究室と芝浦工業大学の野村研究室の学生の皆様に感謝申し上げます。

加えて最後に、本年会においては、前年度秋に開催された膜シンポジウム2020の開催形式のかなりの部分を踏襲させていただきました。詳しい運営および開催手順を残していただきましたことに、この場をお借りして一言お礼申し上げます。

組織委員会

組織委員長：松木 均（徳島大学）

組織副委員長：比嘉 充（山口大学）

組織委員：赤松憲樹（工学院大学）、伊藤大知（東京大学）、大橋秀伯（東京農工大学）、玉井伸岳（徳島大学）、野村幹弘（芝浦工業大学）、松方正彦（早稲田大学）



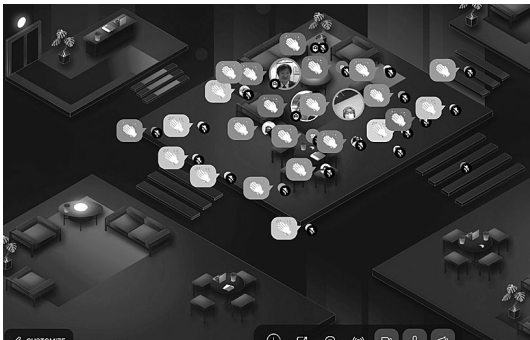
特別講演 荒殿先生



特別講演 遠藤先生



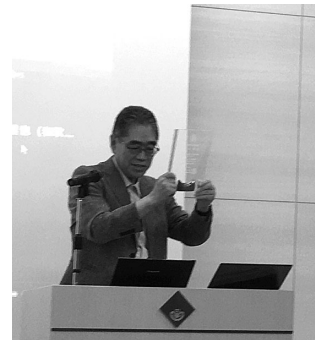
コントロールセンター



懇親会風景



表彰式風景 1



表彰式風景 2